

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

資料2

令和 年 月 日

協議会名: 千歳市地域公共交通活性化協議会

評価対象事業名: 地域公共交通バリア解消促進等事業(バリアフリー化設備等整備事業)

①補助対象事業者等	②事業概要	③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点(特記事項を含む)
千歳昭和交通株式会社	ユニバーサルデザインタクシー1台導入	より多くの高齢者や障がい者のため、車の入れ替えの際にはユニバーサルデザインタクシーを積極的に導入した。	A 計画通り事業は適切に実施された。	A 高齢者や障がい者が目的とする方向・施設へ、スムーズに移動することが可能となった。	高齢者や障がい者の要望に添えるよう、今後もユニバーサルデザインタクシーの保有率を高め、利便性を向上させる。
ゆたか交通株式会社	ユニバーサルデザインタクシー1台導入	より多くの高齢者や障がい者のため、車の入れ替えの際にはユニバーサルデザインタクシーを積極的に導入した。	A 計画通り事業は適切に実施された。	A 誰もが利用しやすく、みんなにやさしい車両の購入により、乗降時の負担を軽減することにつながった。	誰もが利用しやすいUDタクシーの購入を継続し、バリア(障害)をなくしていくことで、利用者の利便性の向上につなげていく。
<p>令和2年度に国庫補助金を活用して購入したUD(ユニバーサルデザイン)タクシーです。購入に当たっては、令和2年度第1回千歳市地域公共交通活性化協議会(書面開催)において、事業計画を審議し、国へ提出しており、これに対する事業評価になります。</p>					

昭和交通購入車両 写真



ゆたか交通購入車両 写真

